

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社こぐまほいく企画
施設名	こぐま保育園
報告者（役職）	熊谷研哉（園長）
住所・連絡先	岩手県北上市さくら通り2丁目10番59号
	☎ 0197-72-6181 E-mail info@kogumahoiku.co.jp

○タイトル（保育計画）

感性を磨き、生きる力の基礎をつくる！

○主な助成備品

散歩車、日よけ付リクライニング付散歩車、プール等

1. 保育計画策定の目的

こぐま保育園は平成30年4月に開園した、生後2ヵ月から2歳児までの小さなお子様をお預かりする小規模保育事業所です。人間形成の土台づくりとも言われる大事な乳幼児期子ども達に、この世界にある大気、水、日光、風、植物などの自然や様々な素材に触れる機会をたくさん作ってあげることで、本物の持つ美しさやすばらしさ、気持ちよさを感じられる豊かな感性を育みたいと考えています。

その取り組みとして、外遊びは大変重要なことと捉えており、小さい子ども達にあった散歩車で、少し遠くの世界まで連れて行っているような風景を見せたり、様々な刺激を受けさせたりすること、安全性の高いプールを使って思いっきり水の気持ちよさを味わわせてあげることを、今回の助成金を使っての保育計画とさせていただきます。

2. 具体的な実施内容

①日よけ付リクライニング付散歩車



- ・リクライニング機能が付いているので、安心して0歳児を乗せることができるようになった。

②1・2歳児・・・つかまり立ち散歩車



・天気の良い日はほぼ毎日使用している。

③エアープール



・安定していて、安全性にも優れていると感じた。
・のびのびと全身を使って遊んでいた。

④ベビープール



・プールごとに遊びを分けて、子どもが自分で遊びを選べるようにした。

3. その成果と評価

①日よけ付リクライニング付散歩車

- ・対面で4人乗れるので、みんなで一緒にお散歩に出かけられるようになった。
- ・リクライニング付きなので、途中で寝てしまっても安心である。
- ・日よけも付いているので、直射日光から園児を守ることができる。

②つかまり立ち散歩車

- ・お散歩の行動範囲が広がった。
- ・2歳児や月齢の高い1歳児は、往路は自分の足で歩き復路は散歩車に乗るなど、一人ひとりの成長に合わせて使用している。
- ・少し遠くの公園まで出かけられるようになったことにより、お散歩バッグをつくったり、どんぐりや木の実、自分の気に入ったものを持ち帰り、園での遊びに展開したり、家庭に持ち帰って園での散歩の様子を保護者に伝えたりするきっかけとすることができた。

③エアープール

- ・大きさも十分で安定していて、安全性にも優れていると感じた。
- ・のびのびと全身を使って遊ぶことができ、解放感を味わいストレス発散することができた。
- ・水遊びならではの心地よさ、水と光が反射してキラキラ輝く様子など美しさも体験できた。
- ・水遊びすることによって、衣服の脱着の練習になった。

④ベビープール

- ・0歳児や1歳児も水遊びの気持ちよさを味わうことができた。
- ・色水を作ったの遊びや石鹸を使っての泡遊びも夢中になってやっていた。
- ・ベビープール2台とエアープール1台があることで、大胆に遊びたい子、じっくり遊びたい子、両方の遊びに対応できるように環境構成することができた。

4. 今後の課題と展望

エアープールは、園児がへりに前かがみに寄りかかった時に危険を感じたり、プールの中で足元が滑ってしまったりすることがありました。これらのヒヤリハットや衛生面への取り組みにも気を付けて、これからも大いに活用していきたいと思います。

基本的なところで子ども達がどんな人格の人間になるか、それをほぼ決定するのが乳幼児期なのだそうです。私たちはそういう大事な時期の子育てに携わっているという自覚と責任を持ち、これからも子ども達の感性を育む保育を行い、生きる力に繋げていきたいと考えております。この度は本当にありがとうございました。

以上